

笑顔満天

第 9 号

H29. 11. 1



【発行】

〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115

児童養護施設 天王谷学園

078-958-0302 FAX 078-958-0346



今年は天候に振回されて猛烈に暑かったり、真冬並みの秋になったりと体調管理が大変です。皆様はいかがでしょう？

8月に厚労省より「新しい社会的養育ビジョン」が発出され児童養護施設・乳児院・里親を含めてそれぞれの立場で改めて議論が起こっています。児童の健全な育成を目指すことでは一致していても方法となると様々で簡単にまとめていくのは難しいと感じます。言葉遊びのように感じる議論もありますが考えをまとめる言葉の重さも逆に感じています。こちらからまとめていくのが大変です。

さて、真ん中にいる子ども達は元気です。天王谷の子ども達は本当に良く頑張ってくれました。男子はフットサルで小・中合同の大会で優勝、女子はバレーボール大会で初優勝。また小学生は神戸市フットサルの大会でも優勝し、近畿スポーツ大会に出場しました。

学園には今、優勝旗が三本もそろっています。毎日学校まで往復5キロを通学する日々の積み重ねも役に立っていると田舎にある施設の利点も感じています。

保育園も元気です。定員一杯に近い幼児さんが毎日元気に動き、先日はどんぐりを集めに散策に行きました。視点が低く全く違う感性を再認識しました。どちらにも感じるのは子ども達を支え・指導してくれる職員がいます。感謝です。

児童福祉を取り巻く環境も激変するかもしれませんが、施設の特徴は何かを改めて考えながら養育して行こうと思います。まずは現場の様子を「笑顔満天」でお楽しみください。



石峯寺の三重塔と紅葉

社会福祉法人天王谷学園 理事長 波来谷 徹生





女子棟は1泊2日で岡山へキャンプに行きました。それぞれ、お気に入りの服を着て出発！車中が「長い～」と言いながらも皆で音楽を聴いたり、歌ったり、景色を見たりと楽しく過ごしました。初日の桃狩りはお店の方においしい桃を教えてもらい、採り方、皮のむき方を習って「甘い！おいしい！」と大満足。ロッジの前はとても広い芝生の運動場で、子どもたちは大喜び。BBQをしながら遊びを楽しみました。2日目の井倉洞は全長1200m。「涼しい、冷たい水、おもしろい形」と自然の不思議に触れ、ちょっとした探検になりました。帰りの車中「楽しかった～」の声が聞こえてきました。（庄司）



中高男子は2泊3日で岡山県牛窓にあるサンビーチ前島に行きました。海から歩いて間もないところにテントを張り、常に海を感じて過ごしました。海で泳いだり、釣りをしたり、バーベキューをしたり、夜には前島展望台を目指して肝試しをするなど普段では出来ない経験が出来ました。自然豊かな場所ということもあり蚊が多く、蚊取り線香の近くに集まったり、虫よけスプレーを使ったりと色んな対策をしながら蚊と闘い、全員真っ黒に日焼けして帰ってきた楽しいキャンプになりました。（杉村）



小学生のキャンプでは1泊2日で京都の美山町自然文化村に行きました。キャンプ場の横にはとても綺麗な由良川があり、子どもたちは顔をつけて魚を見たり、少し高い岩から飛び込んだり、流れの速い所を浮き輪に乗ってウォータースライダーのように利用したりとそれぞれが遊び方を見つけて遊んでいました。夜に行った肝試しでは、怖くて泣いてしまう子もいましたが、いい体験になったのではないかなと思います。今年も神戸親和女子大学の学生さんが参加して下さり、子どもたちも楽しい時間を過ごすことができました。沢山笑って、泣いて、叫んでと賑やかで楽しいキャンプとなりました。（清河）

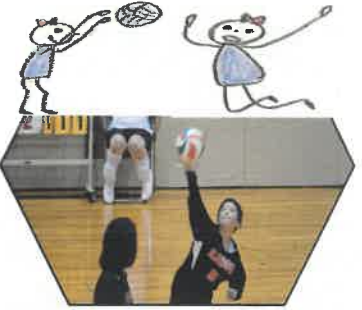


8月に2泊3日で兵庫県豊岡市にある竹野浜海水浴場に行きました。3日間晴天に恵まれ、おもいきり“夏の海”を満喫しました。小さい子どもたちは浜辺で泳いだり、砂でお城を作ったりして遊ぶ姿が多く見られました。小学生高学年や中高生は、足のつかない沖のテトラポットまで泳いで到達していて成長を感じました。発達に応じて個々で楽しみ方を工夫していたのが印象的です。夏の風物詩であるスイカ割や花火も体感することができ、満足した様子を見せていました。（松本）



バレーボール大会

8月25日に養連バレーボール大会がありました。学園では、毎年2ヶ月前から体育館を借り練習に取り組みます。今年は中学生のバレー経験者が多く、アタック・サーブ等の技術面ではレベルが高いものとなりました。練習ではふざけることも多く心配していましたが、大会当日は、それぞれが声を出し、ボールを拾い、得点を決め、見事優勝することができました。また来年も優勝を目指せるよう頑張りたいと思います。(南)



運動会

<淡河町町内運動会>

9月に開催された町民運動会に参加させていただきました。真夏のような天気で、色々な種目に出場し、暑いなかそれぞれが頑張りました。

昨年優勝した綱引きは決勝戦まで進みましたが、惜しくも敗れてしまいました。ですが、綱引きに出場した子どもたちはもちろん、綱引きに出場していない子どもたちも大きな声で応援してくれて、地域一体となって戦うことができました。(藤原)



<園内運動会>

10月14日当園グラウンドにて園内運動会を実施しました。前日からの雨で天候が心配される中での実施でしたが、紅組白組に分かれて神影地区一周から始まり障害物競走や大縄跳びなどでみんな頑張って競技に取り組みました。どちらの組も一生懸命頑張りましたが競技の結果は57点对83点で白組の勝ちに終わりました。運動会で頑張った後は毎年恒例のバーベキューを行ってお肉やお野菜を食べ運動会の疲れを癒やしていました。(澄生)



<中学校運動会>

今年の体育会は台風の影響で演技と競技の2回に分けられて実施されることになり、先に演技を体育館で行いました。竹体操の演技ではひやっとする場面も見られましたが気迫に圧倒されました。集団演技のダンスでは全学年息を合わせて踊る事ができていました。学園の子ども達は時間を見つけては部屋で練習していて本番前からやる気を感じました。別日に行われた競技は平日だったこともあり士気が下がると思われていましたが、誰も力を抜くことなく最後まで頑張ってやってくれました。(脇田)

卓球大会

今年も卓球大会が行われ、児童の部3名とオープンの部3名が出場しました。去年も出場し、今年こそはと意気込む子、初めて出場する子など様々でしたが、1か月ほど前から時間を見つけては練習し、その成果ですごく上達していたので優勝を目指し臨みましたが、決勝トーナメント1回戦で優勝チームと対戦し物凄く僅差で負けてしまいました。来年はもっと上手くなって勝ちたいと悔しがっている姿がとても印象的でした。(田川)



園内研修

<KJ法>

前号の笑顔満天第8号では新入職員の紹介をさせて頂き、今号では今年実施しました全職員による2回の研修を紹介をしたいと思います。第1回目は「KJ法」により自

転車事故の原因と対策を「子どもの目線」「職員の目線」「環境や立地条件」等の多方面から検討することで問題発生の本質に迫り、事故防止対策とし実行しています。

研修方法は3チーム編成とし、それぞれブレインストーミング後タックシールに1項目ずつ記載し、記載理由を話し合いをしながらグルーピングを行い、各グループの関連性を見極めた内容となりました。最後に全員の前でチームの代表（新人職員）が発表して終了しました。



<マシュマロチャレンジ>

第2回研修は「マシュマロチャレンジ」というチームビルディング研修を行いました。内容は、スパゲッティ20本とセロテープとヒモを使って出来るだけ高い塔を限られた時間内に完成させ最後にマシュマロを乗せてその高さを競うという単純なゲームです。この研修の狙いは、「アイスブレイク」や「リーダーとメンバーの役割確認」等で行われていますが、私達は「PDCAサイクルを回す」を主眼に置いて実施しました。

1回目では全チーム塔を建てる事が出来ず失格でした。2回目を行う前にチーム内で1回目の失敗のチェックを行い、新しいプランとそれぞれの役割を確認してから2回目に挑み、見事2チームが71cmを達成しました。「作戦（プラン）は重要」「トライ&エラーは大切」「マシュマロは意外と重たい」「さまざまな事にPDCAの順序を踏まえて行っていきたい」等の感想が聞こえてきました。（研修委員会）



パンダこうとく保育園



今年度は、3歳児1名、2歳児8名、1歳児6名、0歳児3名の18名になりました。毎日、元気なかわいい子どもたちの声がにぎやかで、私たち保育士も子どもに負けないよう動き回り、笑顔でかかっています。

最近では、地域の方から「パンダさん、子どもが増えたそうやな。良かったな」とよく言ってくださり、気にかけてもらっているのだなとうれしく思っています。また、隣の福祉センターや児童館に来られたときには、フェンス越しに、園庭で遊ぶ子どもたちに「こんにちは。何して遊んでいるの?」とやさしく話しかけてくださったり、園庭の花壇の花や野菜にも気をかけて「もう少し、水をやった方がええな」「そのブロッコリーは添え木がいるな」などとアドバイスもして下さったりします。

夏の頃には、子どもたちにミニトマトや花しょうぶを持って来てくださったり、落花生の苗を頂いたりしました。落花生は順調に育ち、この秋に、子どもたちと一緒に収穫しました。保育士の中には、落花生が土の中にできるということを初めて知った者もいました、早速、湯がいて食べたのですが、その味のおいしさに、またびっくりで、とても良い体験ができました。

パンダこうとく保育園は、淡河という温かい地域の中で、だんだん大きく成長させてもらっていると感じています。これからも、地域の皆様に見守られながら、子どもの健やかな成長を願って、頑張っていきたいと思っています。（安井）

<<編集後記>>

今回取り上げた園内研修は、学園で組織している6つある委員会の一つの研修委員会の主催で行いました。この「笑顔満天」では、今後は子ども達の行事紹介だけでなく職員の日頃の活動や、他の委員会の活動の様子についても随時紹介させていただきたいと思っています。（西ノ）

